

総合的な防災政策

Total Disaster Risk Management

優良事例集

2009

Good Practices

2009

はじめに

世界では、毎年2億人以上の人々が自然災害による被害を受けています。特に2008年5月に発生した中国の四川大地震やミャンマーを襲ったサイクロン・ナルギスにより数多くの被災者が発生したことはまだ記憶に新しいところです。2009年には、インドネシアでの地震やフィリピン等を襲った台風等数多くの自然災害が発生しました。これらの災害の経験を通して、発災後の応急対策や復旧復興における国際協力の必要性に加えて、被害を軽減するための事前の取り組みの重要性が再認識させられました。

現在各国で推進している「兵庫行動枠組 2005-2015 (HFA)」では、災害による人々への被害及び社会経済的な被害を軽減していくことが社会の持続可能な開発のためには不可欠であり、その実現のためにはHFAの5つの優先事項に沿って、国際機関や各国政府、民間企業、ボランティア、学会をはじめとする市民社会など多様な関係者が参加して取り組む必要があります。

アジア防災センター (ADRC) は、1998年の設立以降、防災情報の共有、人材育成、コミュニティの防災力向上等の活動を通じて、アジアの各国が安全で安心して快適な生活が営める豊かな地域への躍進していくことを目指した諸活動を実践しています。また、国連をはじめとする関係国際機関や各国の防災関係機関と連携して、HFAの実現にも取り組んでいます。

この総合防災政策：優良事例集は、各国・地域で実施されている防災分野における活動を広く共有・発信し、防災活動を推進することを目的として、2005年1月に神戸で開催された国連防災世界会議のために作成し、それ以降、毎年発行しています。優良事例集2009には、ADRCメンバーの国々から提示された最新の優良事例として防災教育や訓練、また民間企業における災害リスク軽減に関する取り組みが記載されています。

この優良事例集2009が防災に関わる機関、政策担当者や実務者にとって役立ち、HFAが掲げる「災害に強い国・コミュニティの構築」に貢献できることを願っています。

2009年12月

是 澤 優

アジア防災センター 所長